文章題テスト・小説(1)

月　日

名　前

★つぎの文しょうを読んで、あとの問いに答えましょう。

光平は、じいちゃんに、夏休みに冒険につれていってほしいとたのんだ。じいちゃんは、冒険の練習だといって、流れ星がたくさんあらわれる『流星ぐん』の見える日に、光平を山へつれてきた。二人は駐車場に車をとめて、てんぼう台まで歩く。

1 太陽は西にかたむいて、ときおり強い風が背中をおす。

「さぁ、出発だ！」

2 「はいっ！」

背中に荷物をかつぎ、じいちゃんの後ろについて、光平はとことこと歩きだした。雑木林の間にのびる細い道を歩いていると、ひたいから汗がふきだしてくる。流れて目に入るとぶつくさ言ったら、じいちゃんが、腰にさげた白いタオルを広げて、ぎゅっとはちまきしてくれた。たったそれだけのことなのに、3 心までぎゅっと力が入る。

でも、軽トラが見えなくなったとたん、気弱になった。母さんとはなれて、知らない場所で寝るなんて、はじめてなのだ。

（あーあ、なんか心配。いや、ここまで来たんやから、がんばろ。『流星ぐん』って、どんなんかな？　きれいやろな。けど、真っ暗やったら、こわいなぁ。）

心の中は、大いそがしのシーソーだ。じいちゃんは、おかまいなしに進んでいく。なれない光平は、でこぼこにつまずいては、［　　］する。

/9
問正解

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
ちびむすドリル

名前

「気をつけろよ。虫も多いしな。」
「じいちゃん……。ぼく……、ものすごーく楽しみやけど、ちょっとだけ心配や。」
「そりゃあ、ちょっとくらい心配なのはあたりまえさ。まぁ、せっかく練習に来たんだから、がまんしてついてこい。」
うん、と光平は小さく答えた。
（あんず　ゆき「冒険に行こう、じいちゃん」より）
（注）軽トラ…小さなトラック。
雑木林…さまざまな木が入りまじった林。

(1) ――線1「太陽は西にかたむいて」とありますが、これは、一日のうちいつごろのようすですか。ア～エから一つえらんで、きごうを書きましょう。

ア　朝　　イ　正午ごろ
ウ　夕方　　エ　夜

(2) ――線2「はいっ！」のぶぶんを、声に出して読むとき、どのように読むとよいですか。もっともふさわしいものを、ア～エからえらんで、きごうを書きましょう。

ア　大きい声で、ゆっくりと読む。
イ　大きい声で、みじかく読む。
ウ　小さい声で、ゆっくりと読む。
エ　小さい声で、みじかく読む。

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
ちびむすドリル

名前

(3) ——線3「それだけのこと」とありますが、どんなことですか。つぎの［　］に当てはまることばを、文中から九字で書きぬきましょう。

じいちゃんが、光平のひたいに、［　　　］

［　　　　　　］こと。

(4) ——線4「心までぎゅっと力が入る」とありますが、どんな気もちになったのですか。もっともふさわしいものを、ア～エからえらんで、きごうを書きましょう。

ア　がんばろうと思う気もち。
イ　かなしさをこらえる気もち。
ウ　楽しみでわくわくする気もち。
エ　きんちょうでこわばる気もち。

［　］

(5) ［　］に当てはまることばとしてもっともふさわしいものを、ア～エからえらんで、きごうを書きましょう。

ア　さらさら　　イ　ころころ
ウ　ぶらぶら　　エ　よろよろ

［　］

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
ちびむすドリル

名前

(6) ――線5「ものすごーく楽しみやけど、ちょっとだけ心配や」について、つぎの①～③に答えましょう。

① 光平の「楽しみ」とは、どんなことですか。つぎの［　　］に当てはまることばを、考えて書きましょう。

［　　］こと。

② 光平が「心配」になったきっかけが書かれているぶぶんの、はじめの三字を書きぬきましょう。ただし、「、」や「。」も一字と数えます。

［　　］

③ 光平が心配しているのは、どんなことですか。当てはまるものを、**ア**～**エ**から二つえらんで、きごうを書きましょう。

ア 母さんとはなれて、知らない場所で寝ること。

イ 夜になって真っ暗になること。

ウ でこぼこ道につまずくこと。

エ 虫にさされてひどいめにあうこと。

［　　］・［　　］

学習プリント無料ダウンロード
ちびむすドリル
ちびむすドリル